

すわみつえ通信

No.299 2024年1月15日

日本共産党鴻巣市議会議員
諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



身近な議員として もっと届け
たい声がある 声をかたちに

能登半島地震の一刻も早い復旧を心から願います

被災自治体は中学生の集団避難を計画



- 避難先是県南部の白山市にある県立施設。宿泊が可能
- 一部の教職員も一緒に避難予定
- 施設内か周辺の中学校で授業を行つ方向で調整

(図) 日本経済新聞=1月13日

今後は珠洲市と能登町からも同様に集団避難が検討されていくことのようです。教職員もともに100km離れた同施設で避難生活をし、周辺の中学校で授業をする」とが検討されています。被災された家族から離れての集団避難においては、子どもたちの心のケアが優先されなければならないと思いまます。どうか無事に過ごせるよう祈るばかりです。

能登半島地震発生から2週間となり被災の全容が分かるにつれ、一刻も早い復旧を願っています。「被災地の子どもたちはどうしているだろう」と案じていたところ、やっと報じられました。「輪島市は13日、被害が深刻な市内の中学生の集団避難について、市立中3校の全生徒401人のうち、250人が県南部の体験学習施設に移ることに同意した」と明らかにしました。」とのことです。

大型フェリーに宿泊

石川県七尾市の港に防衛省がチャーターした民間の大型フェリーが入港しました。最大300人が宿泊可能で、各避難所から希望を聞き取った上、14日から受け入れを開始するようです。避難者の宿泊は一泊二食で、トイレや風呂、ベッドなどが完備されています。ホットドッグなどの完備された宿泊ができるひとときが送れるといいです。

中学生集団避難

早朝駅宣伝でも募金活動

平日7時から8時まで各駅で、すわみつえ通信をお届けしておりますが、1月9日より救援募金にも取り組んでおります。吹上駅・鴻巣駅西口で「協力いただきました。朝のお忙しいところですが、ぜひ」協力ををお願い致します。

被災した方々を支援するため埼玉県と県内市町村が連携し、1月8日から応援職員を派遣（第1次派遣）しています。本市からは第2次派遣として、1月15日（月）から1月22日（月）まで石川県七尾市に避難所運営支援業務等に職員1名を派遣しました。

鴻巣市から職員派遣

俳優・演出家の仲代達也さんが監修した「能登演劇堂」が七尾市にあります。十数年前に訪れ、佐藤B作さんの舞台を楽しみました。舞台奥の大きな扉が全開する構造になつていて、開くと能登の自然と舞台が一体となります。

以前、新宿梁山泊のテント芝居で、舞台奥のカーテンがさつと開き新宿の夜が舞台「能登演劇堂」の舞台も観たいと出かけたものでした。この地震が大変気になつておりましたところ、HP上で「当面の間休館」が案内されました。



北鴻巣駅東口

また、通信読者の方からは日本共産党の募金受付口座のお問い合わせをいただきました。お預かりした救援募金は全額を被災者支援、被災自治体への義援金に充てます。

俳句コーナー

「ありがとうございます」「せめてピアノで

舟唄を

瑠璃子
※八代亜紀さんの訃報に接して

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

被災者に寄り添った支援を

党首会談で志位委員長6点要請

能登半島地震の対応をめぐる与野党6党の党首会談（5日）で、日本共産党の志位和夫委員長は、岸田文雄首相に次の6点を要請しました。

- ①避難所の緊急の改善
- ②安心して休める住まいの確保
- ③孤立地区の解消と物資輸送
- ④医療機関と介護施設への緊急支援
- ⑤通信手段の確保へ移動式の携帯基地局や電源の確保
- ⑥原発の重大事故を絶対に起こさず、トラブルに関する情報公開

岸田文雄首相は「問題提起はおっしゃる通り」と応じました。

赤旗日曜版1月14日号

復旧不透明 党議員ら要望聞き取り

粟崎小学校併設の学校給食調理場出入り口付近で進められる復旧工事＝6日、金沢市



能登半島地震では、金沢市内でも道路の段差や断水などの被害が生じ、6日も復旧作業が進められました。

車は徐行して通行している状況です。

金沢市粟崎地区の一部では、6日時点でも断水が続いている。同地区的道路などには段差が生じ、自動車は徐行して通行している状況です。

現場で水道などの復旧作業にあたっていた、市の土木局長は「断水の復旧には、いったん道路の舗装をはがして、上水の状態を確かめる必要がある。現時点では、下水がどうなっているか、状況は分からぬ」と話しました。

粟崎小学校に併設された

日本共産党の森尾よしあき金沢市議は同日、地域支部の支部長とともに粟崎地区の住民らから要望などを聞きました。自家の基礎にひび割れが生じ、若干傾いていると話した女性は、「罹災（りさい）証明書を発行してもらうために、写真などを撮つた」といいます。森尾市議は、今後必要な手続きなどをアドバイスします。

（嘉藤敬佑）

震災 支援情報

しんぶん赤旗 1月14日付

要介護者500人 都受け入れ

東京都は11日、能登半島地震で被災し、介護や治療が必要な高齢者や障害者、人工透析患者を、都内の施設・医療機関で受け入れると発表しました。約510人の受け入れが可能。都が必要な支援内容を聞き取り、対応できる施設を仲介します。

同日時点で、特別養護老人ホーム約210人分、障害者入所施設約140人分、透析患者向けの医療機関約160人分の空きがあります。主に被災自治体からの問い合わせを想定。都ホームページに電話番号を掲載している各担当部署の窓口で受け付けます。

応急住宅2万3700戸を確保

岸田文雄首相は12日、首相官邸で開かれた能登半島地震の非常災害対

策本部で、被災者の応急住宅として公営住宅と民間賃貸住宅を北陸4県で約2万3700戸確保したと明らかにしました。ホテルなどへの「2次避難」を促進し、希望者が応急住宅に移ることができるように、関係閣僚に指示しました。

石川県内で公営住宅約300戸と民間賃貸住宅約5500戸、富山、福井、新潟3県で公営住宅約900戸と民間賃貸住宅約1万7000戸がすでに提供可能といいます。

仮設住宅の建設は12日から石川県輪島、珠洲両市で、来週から穴水、能登両町で開始することも表明しました。

林芳正官房長官は記者会見で、2次避難先として、北陸と近隣の計7県で合わせて約1万3000人分の宿泊施設を用意したと説明。これとは別に東京、大阪、名古屋の三大都市圏にも計約1万2000人分を確保しました。

法テラスで被災者無料相談

小泉龍司法相は12日の記者会見で、能登半島地震で災害救助法が適用された新潟、富山、石川、福井各県の市町村の被災者を対象に、日本司法支援センター（法テラス）で無料の法律相談を実施すると発表しました。12月31日まで。不動産や金銭、相続などに関する相談に幅広く対応します。

相談窓口は法テラスの「災害ダイヤル」で、フリーダイヤル（0120）078309。平日は午前9時から午後9時まで、土曜は午前9時から午後5時まで受け付けます。

小泉氏は、地震後にSNS上で「外国人窃盗団がいる」などの偽情報が拡散されたことについて、「不確かな情報に基づき偏見や差別を助長する発信は、重大な人権侵害になり得る。厳に慎んでほしい」と呼び掛けました。